

○ NPOエル・エンジェル国際ボランティア協会は会費や会員制とはっていません。
全て皆様の善意に支えられるボランティアグループです。
ご支援賜れますようどうぞ宜しくお願い申し上げます。
ご参加いただきました皆様に当協会が発行しているエル・エンジェルボランティア便りを送らせていただきます。

○ インド・ネパールにて、長期ボランティアをご希望の方は当協会までご一報ください。

◇ネパール、カトマンズ路上にて

僕の家は、あの山の2つ向こうにあります。

この生姜は（小指ほどの大きさ）家族みんなで作りました。

アンマ（母）は、体が痛いので、これが売れたらアンマの薬を買って帰ります。

ぼくも字が読めるようになりたいです。

そして、もっと家族を助けて上げたいです。

着古した服、はだし姿で路上に座り、ふろしきの上にわずかにばかりの生姜を広げ道行く人たちをものめずらしげにながめていた少年と出会った日のことです。少年は隣村の人に連れられて、片道7時間の道のりを歩き、母親の薬を求めカトマンズの街まで来たとの事です。

少年の住む村には、電気も無く、医者もなく、学校も無く、村で遠くの学校へ行っている子は（寄宿生として）一人だけとの事でした。

“ぼくも字が読めるようになりたい。”この一言は、学校へ行けることへの不可能を受け入れつつも、少年の心のさけびと聞こえました。ネパールのたくさんの子供たちの声なきこえが、ぼくも、私も学校へ行きたいとヒマラヤの天空にこだましているようでした。

（1983年4月）よしこ記

◇ネパールの子供達に愛の手を

神々しいヒマラヤの山々がそびえ立つ国、ネパール。

観光客にとっては美しい山国であっても、そこに住むネパールの人々の現実言葉は絶する位大変です。

赤茶けた起伏激しい山肌を耕地としての生活。

点在する村々として、学校までの道のりは歩いて二時間というのも珍しくなく、又、飲み水を得るため、傾斜険しい道を谷底まで日に幾度と水を背負って運ぶ子供。

そんな子供達の足は裸足。零度近い冬でも、ボロボロの薄手のシャツ姿の子供たち。

そして、そんな貧しさゆえに、幼い子供たちが、他国へと売られていく昨今。

売られた先で H・I・V 等の病気にかかり、故郷ネパールに戻されるか、そのまま他国の地で一人寂しく死んでいく子供達・・・。

同じ地球上に住む人間として、私たちが何か少しでもお役に立てないものでしょうか？

今こうしている時も、子供たちは涙を流しているのではないのでしょうか。皆様の愛の心が具現されますようご支援のほど、どうぞよろしく御願いいたします。

“私たちの国籍は地球。だから国境はない”この言葉を合言葉に、地球号に乗り合わせた人々と助け合って、この地上の旅の約束を果たし、悔いなく人生の旅を謳歌して参りたく念じ祈り上げています。

特定非営利活動法人

(NPO)

エル・エンジェル国際ボランティア協会

L・ANGEL INTERNATIONAL

VOLUNTEER ASSOCIATION

エンジェルのように自由に
エンジェルのように愛いっぱい
喜びも悲しみもあなたと分かち合いたい。
これが私たちの願いです。



発行所 エル・エンジェル国際ボランティア協会

〒243-0406

神奈川県海老名市国分北2-17-16

Tel 046-236-0001

Fax 046-236-0002

<http://www.l-angel.org>

◇ NPO法人エル・エンジェル国際ボランティア協会のプロフィール

○ 目的

この法人は、開発途上国に対して、経済基盤の確立及び子供たちの教育等に関する事業を行い、国際協力の活動を推進し、更には国内外の福祉の増進及び災害救援活動に寄与することを目的とする。

○ ボランティアをさせて頂くにあたり

- ・自己満足に促われてはならない。
- ・他を批判してはならない（調和を欠く元です。）
- ・強引な運びはしない（相手の存在、文化等を尊重し、価値観の押し付けはしない）
- ・執着は持たない（無私の愛を持って精神の向上を目指す。）

以上のことを心がけながら、愛と調和をめさしボランティアを進めて参ります。

○ これまでの歩み

* 国内

- 1993年・奥尻地震 物品、見舞金支援
- 1995年・阪神大震災 労働力、物品、見舞金支援
- 1996年・鹿児島大水害 見舞金支援
- 1999年・法人格取得により エル・ロードボランティアを、特定非営利活動法人 エル・エンジェル国際ボランティア協会に改名
 - ・広島大水害 見舞金支援
- 2000年・三宅島災害へ見舞金支援
- 2004年・中越地震 物品、見舞金支援
 - ・広島台風 見舞金支援
 - ・福岡西方沖地震 見舞金支援
- 2005年・内観による地域交流事業 広島県
- 2006年・内観による障害児家族の心のサポート事業 東京都町田市

* 海外

- 1992年・ネパール国カトマンズのチャイルドヘブン孤児院への支援
- 1997年・ネパール国ポカラ市ラマチョー地区において、学校の建設開始
 - ・カトマンズ青年育成のための支援
- 1998年・ネパール・エル・ロード校として開校。（生徒数68名）運営
 - ・里親制度開始
 - ・地域住民の自立支援センターとして、技術トレーニングセンターの建設、運営
 - ・インド大地震見舞金
- 1999年・エル・ロード校をエル・エンジェル校と改名
 - ・ネパール・エル・エンジェル校2階増築部分間生（生徒数98名）
 - ・トルコ大地震見舞金

2000年・ネパール・エル・エンジェル校3階増築完成（生徒数190名）

- ・ネパール・エル・エンジェル校里親制度を奨学金制度に変更
- ・ネパール・エル・エンジェル校給食制度開始
- ・インド・アイブラインドスクールへ慰問物品援助
- ・アジア青年育成に支援

2001年・エルサルバドル地震見舞い

- ・ネパール・エル・エンジェル校・理科室・図書室完備
- ・ユニセフへ支援金

2002年・サンデベシ村の小学校建設開始

2003年・ネパール・エル・エンジェル校（生徒数320名、幼児部180名）

- ・インド アンドラプラディ州で井戸掘りを実施。
- ・ネパール・エル・エンジェル校の生徒4名が来日。
- ・サンデベシ村校舎完成
- ・郵政公社によるエル・エンジェル校現地視察

2004年・インド 路上生活者のための老人ホーム建設開始

- ・ネパール サンデベシ村学校にて理科室、図書室、職員室他建設開始
- ・イラン地震 見舞金支援

2005年・スマトラ沖地震・津波被災した漁村にボート寄贈、ツナミ孤児支援を開始

- ・インド路上生活者のための老人ホーム「L. ANGEL OLD AGE HOME」完成。

2006年・インドネシア地震見舞金

- ・インドツナミによる孤児のためのエル・エンジェルチャイルドホーム完成
- ・インド路上生活者のための老人ホーム「L. ANGEL OLD AGE HOME II」建設開始。

○ 運営資金

プロジェクトの費用は一般市民の善意による。組織にとらわれず天の計らいに従って自由な運営を基としていくことを旨とする。

協賛金のお振込み先

郵便口座名

特定非営利活動法人エル・エンジェル

記号

10290

番号

68107191

☆ボランティア全般にわたる支援 金額自由

☆インド孤児支援会員 孤児1人当りの孤児院運営費として 1口、月5,000円

詳細は当協会までお問合せください。自動引き落としも出来ます。

○ 支部

広島支部 福岡支部 大分支部